

9月8日：大型株が売られ、VN指数は続落

木曜日のベトナム市場は銀行、証券、エネルギーセクターの大型株への売りを受けて、前日に続いて軟調な動きとなった。

ホーチミン市場のVN指数は0.69%安の1,234.60ポイントで取引を終えた。同指数は前日2.68%安の1,243.17ポイントで引けていた。

同市場の売買高は5億9,960万株、売買代金は14兆4,000億ドン（6億1180万米ドル）となった。

多くの銘柄が下落し、騰落別では151銘柄が上昇、317銘柄が下落した。

VN30指数は0.27%安の1,265.57ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、11銘柄が上昇、18銘柄が下落、1銘柄は変わらずだった。

銀行株は軟調な値動きとなった。主な値下がり銘柄にヴィエティンバンク（CTG）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、ベトナム国際銀行（VIB）、TPバンク（TPB）、国民商業銀行（NVB）、ベトコムバンク（VCB）、軍隊商業銀行（MBB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、テクコムバンク（TCB）、VPバンク（VPB）、サコムバンク（STB）が含まれた。

ペトロリメックス（PLX）、ビンソン製油石化（BSR）、PVパワー（POW）、ペトロベトナム・テクニカル・サービス（PVS）、ペトロベトナム・ドリリング（PVD）、ペトロベトナム・ケミカル・サービス（PVC）といったエネルギー関連株も大きく売られた。

証券銘柄は大引けにかけて下落した。VMダイレクト証券（VND）、サイゴンハノイ証券（SHS）、ベトキャピタル証券（VCI）、アグリバンク証券（AGR）、APG証券（APG）といった銘柄が大きく売られ、VN指数を押し下げた。

「今後 VN 指数が 1,250 ポイントを上抜けることができなかつたら、VN 指数は 1,220 ~1,235 ポイント、もしくは 1,190~1,200 ポイントまで大きく下げる可能性がある」
(BIDV 証券)

「VN 指数はテクニカル面で 1,230 ポイント付近から上昇し、下支えされると予想される。しかし上昇したら 1,260 ポイント付近の上値抵抗線に注意を払うことが必要だ。」
(ベトドラゴン証券)

「それゆえ、投資家は落ち着いてマーケットの様子を見るのが良い。さらにリスクを軽減させるため、回復期間を利用するのが良い」 (同証券会社)

ハノイ市場の HNX 指数は 0.67%安の 282.15 ポイントで取引を終えた。同指数は前日 3.14%安の 284.05 ポイントで引けていた。

売買高は 7,970 万株以上、売買代金は 1 兆 5,000 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。